

令和7年度・前期 議会モ二夕一事業報告書



一関市議会広聴広報委員会

【事業報告書の内容】

I. 議会モニターと議員の意見交換会（P2～P8）

II. 議会モニターから書面提出のあった意見等（P9～P11）



I. 議会モニターと議員の意見交換会

1. 開催概要

- (1) 開催日 令和7年8月6日（水）10：00～11：30
- (2) 場 所 議員全員協議会室
- (3) 出席者 議会モニター5名、議員8名（議長、広聴広報委員）

- (4) 意見交換 班に分かれてのワークショップ（ワールドカフェ）

【テーマ】

- ① 会議の運営について
（市民に伝わる会議になっているか）
- ② 一般質問について
（市民に伝わる議論になっているか）
- ③ フリーテーマ
（議会だよりを読んで、傍聴してみた意見）

2. 議会モニターからの主な発言内容

【 会議の運営について 】

- 議会を拝見する機会がない。
- 市民からのアプローチも入口。政策提言など。
- 議会側からのアプローチも必要。
- 議会だよりは市民に議会を理解してもらう良いアプローチ。
- 地域に出向いて懇談する機会は必要だ。→ 有意義
- 市全体的な話題の取り上げも必要だ。
- 市民との懇談会は市民の声を聞いてもらえる良い機会である。
- 一般質問の質問事項はどのような視点で出されるのか？
- 地元の意見や課題から一般質問事項を決定するのではないか。
- 市民は興味のある事項は気になるが、それ以外は留意するまでは行かない。
- 若い人の意見や要望を取り上げてほしい。
- 市の良い施策をもっと市民にも市外の人にも PR して欲しい。
- 子どもの遊び場が欲しい。(全天候型)

【 一般質問について 】

- 用語で分からないものは事前に調べられたのが良かったので、ラジオ等で聴くより、直接「通告書」に目が通せて良かった。「議会だより」でも用語の解説があり良かった。
- 質問の深堀に対して、議長が止めた場面で、何故そこで止めたのかレクチャーがあって分かった。
 - 市長が最初骨子を言って、それから部長が細かいところを説明している。
- 不登校フリースクールに興味があるので、今後どうなるのか楽しみにしている。
- 市長と議長に出した要望に対し 8 月に返答があって良かった。
- あまり議会の傍聴には来られないが、いつか来たいと思う。
- 昔、ある議員の質問に対して、通告書にないので、それ以上聞けないという場面があったが、市民はそれ以上の議論を聞きたいと思っている。
- 本当に読みたくなるものを作るという以前に、読みたくなるような議論が無いのが課題、問題だ。

- 通告書以外の質問は出来ないのか？
- 会派別に、同じ議題を質問しているが、そうではなくて、議員同志の話し合いが足りない。もっと議論を深めるには、地域で議論、議題を深めてから議会にもってくる構造、努力が必要である。
- 地域課題を議員にどうしてもらいたいのか、地域で深めてから議員に云ってもらおう。
- 部長の甘い答弁があったがもうすぐ辞めるような人ではなく、もっとやる気のある部長になってもらって、そういう答弁を聴きたい。
- 市長の度量以上の一関市にはならないので、一関市がんばってもらいたい。
- 現在、学童の受け入れが足りていない。4年生以上の受け入れの充実を！
- 地域から議論して上げて行かないと、表層的なものになる。
- 市の回答が予見される質問はせず、その先の質問を。
- 地域の声を日常的に拾い上げる取組が必要。
- やっている事業の必要性をしっかりと検証する必要がある。

【フリーテーマ】

- 議員が全く勉強していない！→質問するための質問になっているのでは？（一関の将来を本当に考えているのか？）
- 議会だよりが見やすくなった。
- 議員だけではなく、周りも巻き込んだ議会だよりになっているのが good。QRコード、アーカイブも良い。
- どのくらいの読者数があるのか？
- 読んでもらえる工夫をもっと検討すべき、地域で活動していく事も重要。
- 新しい用語など解説があるのは助かる
- FM あすもなどラジオで放送していることをもっと発信してはどうか。
- 自分たちが幸せに暮らせるように選挙などしっかり聞き投票をすることが大切、各団体への働きかけも必要では？
- 一般質問などでも提案することも必要だ！また、質問に対して、その後の状況などはどうなったか知りたい。
- 各議員がいろいろな団体などへも積極的に交わり親しみやすい関係を築くこと。

- 議会中継などもっと見られる、聞ける場所を設けること（テレビ、ラジオなど）
- 市民の意見に対して議員が取り組んだ結果などを伝えること（小さなことなど）
- 安心、安全なくらしのために身近なところから議員に活動してほしい。
- 若者が地域から出ていくので教えることも難しくなっている。若者が減っていくことで大人のやる気も薄くなるのでは？



① 会議の運営について ② 一般質問について ③ フリーテーマ

- ・ 会議を拝見する機会がない。
 - ・ 市民からのアプローチも政策提言など
 - ・ 議会側からのアプローチも必要
 - ・ 議会側は市民に議会を理解してもらうアプローチ
 - ・ 地域にも向いて懇話会
 - ・ 市民の懇話会は市民と関係がとれる良い機会
- ・ 一般質問の質問事項はどの辺り重点を出したいか?
 - ・ 地域の見解や課題から事項を決定する
 - ・ 趣味のある事項は気にならずそれ以外の留意事項を挙げて欲しい
 - ・ 若い人の意見や要望を挙げて欲しい
 - ・ 市民の施策をものごとくして市民や中外的に深めたい
 - ・ 子供の遊び場が欲しい(全天候型)
- ・ 一般質問
 - ・ 議員の資質を向上が必要
 - ・ 市の回答が予想される質問はせず、その先の質問を
 - ・ 地域の声や日常的に拾い上げる取組が必要
 - ・ やっている事業の必要性をしっかりと検証する必要がある
 - ・ 議員の理解が要する
 - ・ 議会に対する関心を持ってもらう必要
 - ・ 行政施策を向上させるには議員が勉強し、質を上げていくことが必要
 - ・ 市の不祥事→行政の信頼性が低下(結果)しっかりと対応したい



一般質問

- 「一般質問通告書」に、答弁要求者の欄が出来たのは良かった。
- 要語がわからないものは事前に調べられたのが良かったので、ラジオ等で聴くより、直接「通告書」に目を通せて良かった。「議会だより」で要語の解説がもう少し良かった。
- 質問の深堀りに対して、議長が偉れた場面、何故そこで止めたのか、17分間があった。
- 不登校フリスツルに興味があるので、今後どうなるのか楽しみにしている。
- 本長と議長宛に要望を出したのが、8月に返答があった良かった。
- あまり議会の傍聴には来られなかったのか……?
- 昔の議員の質問に対して、通告書にのびるそれ以上聴けなかった場面があったが、市民はそれ以上の議論を聴きたいと思っている。
- 本日に議決したくなるものもつくづく以前に、議決したくなるのは議論がなされた課題、問題だ。

- 会派別に、同じ議題を質問しているが、それははたして、議員同志の話し合いが足りない。もっと議論を深めたい。地域で議論、議題を深めたい。議会に持ってくる構造、努力が必要。
- 地域課題を議員にどうしてほしいのか、地域を深めてから議員に云ってもらう。
- 部長の甘い回答があったが、もう少しやるべき人々を、右と地味のある部長にのぞいて、どうの答を願いたい。
- 市長の度量以上の一貫性にはならぬので、一貫本根張ってほしい。
- 通告書以外の質問は出来たのか?
- 現在、学童の受け入れが足りていない。4年生以上の受け入れの充実を!

○ 地域から議論して上げてほしい。表層的なものに付る。

← これは、組織の構造上、仕方がないと思う。

← 事前に通告すべきが……

← (上) 地域から来た人々、任組は良い。



議員が全く勉強していない! 一般質問の質問事項……?

(一問の将来と本音を答えているのか?)

「フリーテーマ」

- 各議員が、11月13日の団体での積極的交代の報告や、関係各等……
- 議会中納の費は額外開の場での語り(ヒアリング)
- 市民意見に対して、議員が最相上下結果と伝えた(11月半ば)
- 安心安全な暮らしのために、身近なことから議員で活動してほしい(議員懇話会……)

自分たち50年……の……に……を……する……が……

一般質問台で、投票の……

議員の……を……

若者の地域……を……

若者の……を……

若者の……を……

II. 議会モニターから書面提出のあった意見等（～7月末）

議会モニターからは、書面（文書やメール）をもって随時、意見等の提出があります。

以下は本会議についていただいた意見等です。

（※一部要約）

■No.1 ■意見区分：本会議

- ① 本会議での一般質問項目の整理と集中討論について
 - ・ 議会の都度、各議員のどなたからか出される質問は「不登校児童対策」と「放課後児童対策」である。質問の内容には多少の差はあるものの、市当局の答弁は押しなべて殆ど同じように思われる。その他の質問項目についても同様なケースがみられる。
 - このように毎議会ごとに提出される質問項目・課題については、各議員から通告された段階で項目を整理し、同じ項目・質問については、一般質問ではなく別途委員会ないし分科会などを設けて、集中的専門的に議員と当局がやり取りをした方が、新たな案件や緊急的案件・項目の審議に時間をかけた方が良い。毎回、同じような質問が出され当局の同じような答えが繰り返され、いつまでも現状打開・問題解決が図られない。
- ② 一般質問と当局の説明について
 - ・ 本会議を傍聴して感じるのは、質問する議員の再質問は、市長や関係部長が説明した答弁内容の再確認に止まっており、それ以上の突っ込みや追及が殆どなく、質問の深まりが感じられない。
 - ・ 再質問は残時間稼ぎと思われる部分も見受けられて残念でならない。
 - 再質問は短く、何を回答してもらうかしっかり決めて質問すること。
 - 事前に、当局に質問項目を提出し、必要な数値や情報を市から議員側に渡し、議員は事前にそれを事前勉強して再質問を行うなども一方法である。
- ③ 傍聴者がはじめて16人以上いたようです。その影響が議会会場にも伝わったようで、よりよい雰囲気の中で一般質問がスタートしたことがよかったと思います。

■No.2 ■意見区分：本会議

- ① 今回も類似した質問があったように思います。なかには類似質問なので私からははぶきますとあり、よかったですと思います。

また、議会の前に関係部局とレクチャーがあるからなのか、追加質問でこちらがもっと深めてほしい、そこが大事だよと思ったときに、次の質問にうつりますでは制限時間の関係上では済ませないでほしいと思いました。

- ② 以前、臨時会議を聞いた時に一つの議題に対し会派を越え各議員から複数の質問があったように思います。

通常会議でもひとつの議題質問に対し、議員が団結し質問内容を濃く深くまとめて市政に求めて行ってほしいです。

- ③ 質問通告書を見て、インクルーシブ教育についてとありました。すぐに携帯電話から意味を調べました。普段ききなれていないこともあったのです。議員はその場で意味を説明されました。高齢化率が高まっている中で、このように議会で初めてきくような言葉が横文字になっていることが増え、議会を聞いていても意味がわからない。聞き取れない。に私もなっていくのかなと思えてきました。

- ④ 地下水井戸水検査について、生水のまま飲食することが原因のひとつとなって、ピロリ菌で胃の不調や痛みの要因となっているとわかってきました。そこで市民の健康や健康保険の観点などから検査支援を積極的に働きかけて行ってほしいと思いました。

また、水道管劣化などの被害が報道されるたびに一関市は大丈夫なのかな、起こる前の対策は大丈夫なのかなと思いました。

- ⑤ 気候変動が激しく、各行政区の自主防災組織への期待度は高くなったのでしょうか。しかし実際の活動が機能していないことが、避難誘導名簿の更新不備だった答弁であきらかになりました。組織としての形はできましたがその後はどうなっているのかまで把握指導が必要と思いました。

- ⑥ また、ハザードマップの更新を求めます。

- ⑦ 今回千厩のスケートリンク場の件で前回質問からその後になんか再度質問がありました。この例のように議会の中での質問ではなくても市民に、「あの質問のその後コーナー」のように知らせる場があればと思いました。

■No.3 ■意見区分：本会議

- ① 初めての傍聴でしたが、とてもいい体験でした。

- ② 皆さんの声も聞き取りやすく、言葉遣いも美しく、礼儀正しく、いつも家庭の中にいることが多い私には久々に清々しい気持ちになりました。

- ③ 議会のことを何も知らずに傍聴しましたが様々な問題に取り組んでおられること、報告がきちんとなされていることなどが解りました。
- ④ 事務局の皆さんもいつも親切で助けられました。
- ⑤ また勉強に伺いたいと思います。

■No.4 ■意見区分：本会議

- ① 一般質問と当局の答弁・説明について
 - ・ 議員の再質問と市当局との質疑応答を傍聴して感じたことは、両者の質疑応答は噛み合っていないということ。(特に当局は未回答で終わった様な感じである。) 確かに議員側から噛み合っていないことを告げなかったせいでもあると思うが、市当局・支所長は、一般市民にも理解納得が得られるよう(改めて詳細な内容と経緯を調査し文書等を作成し、明示し説明する)誠意ある答弁があって良い。市長が一言、反省・謝って済ませるような内容ではなかったと思う。
 - 出席していた他の幹部職員も噛み合っていないことなど、注意・アドバイスしても良かったと考える。
 - 答弁は担当部任せで良かったのか、疑問である。精査・検討願いたい。